

基礎医科学演習

責任者・コーディネーター	医歯薬総合研究所腫瘍生物研究部門 前沢 千早 教授		
担当講座・学科(分野)	解剖学講座人体発生学分野、解剖学講座細胞生物学分野、生理学講座統合生理学分野、生化学講座分子医化学分野、微生物学講座感染症学・免疫学分野、病理学講座先進機能病理学分野、病理学講座病理病態学分野、病理学講座分子診断病理学分野、超微形態科学研究部門、腫瘍生物学研究部門、内科学講座消化器・肝臓内科分野、内科学講座糖尿病・代謝内科分野、内科学講座循環器内科分野、内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野、内科学講座血液・腫瘍内科分野、内科学講座血液・腫瘍内科分野、内科学講座神経内科・老年科分野、外科学講座、脳神経外科学講座、小児科学講座、泌尿器科学講座、臨床遺伝学科		
担 当 教 員	人見 次郎 教授 佐藤 洋一 教授、久保川 学 教授、久保田 美子 准教授、佐藤 成大 教授、澤井 高志 教授、増田 友之 教授、菅井 有 教授、遠山 稿二郎 教授、前沢 千早 教授、滝川 康裕 教授、高橋 義彦 講師、森野 禎浩 教授、鈴木 順 講師、村井 一範 講師、水野 昌宜 助教、佐々木 章 准教授、小笠原 邦昭 教授、和田 泰格 助教、阿部 貴弥 講師、福島 明宗 教授		
対象学年	2	区分・時間数	演習講義 72.0 時間
期 間	後期		

・学習方針（講義概要等）

適切な診断・治療の実践には、個々の患者の病態生理に関する十分な理解が必要である。そのためには広範な基礎医学・生命科学の知識とこれらを統合する能力が要求される。本演習では、2学年で学んだ基礎医科学（基礎医学・生命科学）の知識を個々の理解度（習熟度）に応じた学習方略で整理し、これらの知識が臨床医学の現場でどのように役立つのか演習形式で学ぶ。

・一般目標（GIO）

疾病の病態生理を理解するために、自らの持つ基礎医科学の知識を統合し、グループ（チーム）内の同僚あるいは教員とで討議することによって、適切な回答に至る思考過程とその能力を涵養する。

・到達目標（SBO）

個々の行動目標は授業担当者毎に授業の開始時に提示される。
以下、基礎医科学演習として行動目標の概要を示す。

- 1)演習問題の作問意図を指摘できる。
- 2)演習問題中の解説文を作成することができる。
- 3)演習問題の関連知識を説明できる。
- 4)グループ内の同僚あるいは教官に対して、正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

・ 講義日程

別途通知する。

・ 教科書・参考書等

授業毎に指定する

・ 成績評価方法

基礎医科学演習の成績は、各授業に関連して翌日に施行される 60 分の試験で評価する。これらの成績は、2 学年の授業科目（9 科目：器官解剖学、器官生理学、分子医化学、分子生物学、神経生理学、神経解剖学、免疫学・基礎感染症学、感染微生物学、病理学総論）の成績の 3 割として繰り込まれ、判定される。